

このメールマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された新着情報や産業保健情報を配信します。

\*\*\*\*\*

目 次

\*\*\*\*\*

1. 産業保健セミナー（9・10月の予定）のご案内
2. 8月のセミナー結果
3. その他関係機関の動き

\*\*\*\*\*

産業保健セミナー（9・10月の予定）のご案内

\*\*\*\*\*

平成22年度1年間の研修はホームページに掲載してありますが、ここでは9・10月分を掲載します。夏休みの時期ですが是非ご参加ください。

(1) メンタルヘルス対策における産業医の役割（産業医・生涯・専門 2単位）

開催日時 9月2日（木）15:00～17:00  
会 場 前橋テルサ けやきB  
講 師 竹内 一夫 相談員（メンタルヘルス担当）  
内 容 メンタルヘルス対策における産業医のかかわり方のポイントについて、職場メンタルヘルス体制の構築方法・評価方法から、実際のケース対応の注意点にいたるまで幅広く解説する。（基礎レベル）

(2) メンタルヘルス不全者の家族への対応

開催日時 9月3日（金）14:00～16:00  
会 場 太田市社会教育センター 視聴覚室  
講 師 渡辺 俊之相談員（メンタルヘルス担当）  
内 容 うつ病・不安障害・認知症などメンタルに問題のある人を抱えた家族は、さまざまな否定的感情（不安、落胆、怒り、悲しみなど）を持つ。しかし家族はメンタルヘルス不全者をケアするため、そうした感情を抑えて「対応」していかなければならない。援助者は家族のケア能力を高めるために、家族の苦悩に耳を傾け、家族に病気やケアの情報を提供する必要がある。

(3) 一緒に考える衛生管理者の役割

開催日時 9月9日（木）14:00～16:00  
会 場 渋川市中央公民館  
講 師 茂木 昭夫 氏（衛生管理者）  
内 容 衛生管理者の役割と職務について再確認する。その後、日頃の労働

衛生管理を行っていて感じている問題点について、持ち寄って、問題を共有し、話し合い、考え合って問題を解決していきたい。

(4) 誤解を防ぎながら信頼関係を築く対話法

開催日時 9月29日(水) 14:00~16:00  
会場 太田市社会教育総合センター 視聴覚室  
講師 浅野 良雄 相談員(カウンセリング担当)  
内容 相談では共感と傾聴が基本ですが、質問や情報提供も欠かせません。そこで重要なのは、状況に応じてこれらを切り替えるスキルです。研修では、これらを実践するために考案された、確認型応答を中心とする技法の解説と実習を行います。

(5) 事業所がとるべき新型インフルエンザ対策

開催日時 9月30日(木) 14:00~16:00  
会場 ぐんま男女共同参画センター  
講師 倉富雄四郎 氏(富士重工株式会社専属産業医)  
内容 新型インフルエンザとして登場した2009A/H1N1が従来のソ連型に変わって季節性インフルエンザの位置を占めると予想されている。昨年の経過を振り返り、適切な感染対策について考える。

(6) 産業保健スタッフに生じる心理

開催日時 10月5日(火) 14:00~16:00  
会場 群馬産業保健推進センター セミナールーム  
講師 松岡 治子 相談員(メンタルヘルス担当)  
内容 メンタルヘルスを支援する中では、支援するスタッフ自身にも様々な感情や認知が生じる。他者を支援する支援者自身に生じる心理について解説し、研修参加者の体験した事例を挙げて頂きながら検討したい。

(7) パワーハラスメント

開催日時 10月13日(水) 14:00~16:00  
会場 群馬産業保健推進センター セミナールーム  
講師 嶋方 喜斌 氏(カウンセリングルーム「雨上がり」主宰)  
内容 パワハラ訴訟には至らなくても、その手前の対象事例となるハラスメント行為が日常的に多く見受けられます。相手の心を傷つけ、意欲をなくさせ、仕事の効率を低下させ、こころの病へ追い込む、あるいは退職に追い込むような事例が後を絶ちません。その背景と対策を考えます。

(8) 衛生管理者が行う職場の健康づくり

開催日時 10月20日(水) 14:00~16:00  
会場 群馬産業保健推進センター セミナールーム  
講師 佐藤 由美 相談員(保健指導担当)  
内容 特定健診が導入され、メタボリックシンドローム予備軍の減少へ取

り組むことになりましたが、生活習慣改善は個人の努力だけでは難しく、職場ぐるみの取り組みが重要です。そこで、職場で行う健康づくりについて実践例を紹介します。

(9) 職場巡視の実際とその活用 (産業医 生涯・実地2単位)

開催日時 10月21日(木) 15:00~17:00  
会場 富士重工(株)矢島工場  
講師 倉富 雄四郎氏(富士重工(株)専属産業医)  
内容 自動車の生産ラインの巡視を通じて、労働衛生の3管理を確認し、作業場の安全衛生上の問題解決に寄与しうる産業医職場巡視について考えます。

現地集合で実施します。駐車場は富士重工(株)矢島工場で準備していただけます。研修受講に際し、特別準備していただくものではありませんが研修場所の地図等は、参加申し込みを頂いた方にお送りします。

(10) 看護職自身のメンタルヘルス

開催日時 10月26日(火) 14:00~16:00  
会場 群馬産業保健推進センター セミナールーム  
講師 松岡 治子 相談員(メンタルヘルス担当)  
内容 メンタルヘルスを支援する中では、看護職自身にも様々な感情や認知が生じる。他者を支援する看護職自身に生じる心理について解説し、研修参加者の体験した事例を挙げて頂き、特に看護職の感情や認知に焦点を当てて検討したい。

(11) 最低限知っておきたい安全衛生関係法令 その1

開催日時 10月28日(木) 14:00~16:00  
会場 群馬産業保健推進センター セミナールーム  
講師 関口 光男 相談員(労働関係法令担当)  
内容 職場で働く人たちの安全と健康の確保が労働安全衛生法の目的です。社会の中にも危険が存在します。法令で危険性・有害性が特定されているものとそうでないものが存在します。法令で特定されているものは最小限です。「危険性・有害性」を見つけ出し退治しましょう。

8月のセミナー結果

(1) メンタルヘルス不全者の早期発見・早期介入

8月4日(水)群馬県医師会第2委員会室で竹内一夫相談員(メンタルヘルス担当)に講師をお願いし実施しました。

当初予定していた会場があつという間に満席になり、急遽会場を変えたため、参加者の皆様には、ご迷惑をおかけしました。

セミナーの内容は、「職場のメンタルヘルス体制のアウトライン」「職場のストレスとその実態」「早期発見に向けて;うつ状態の判定と対応」「早期発見に向けて」についてでした。

参加した皆さんからは「とても参考になりました。今後に生かしたいと思います」「勉強になりました。事例を踏まえての話なので分かり易かった」「早期発見からの後半が特に分かり易く興味深く聞いた。もう少し時間がほしかった」等のほか「マイクがなかったので、少し聞き取りにくく残念だった」とのご指摘を頂きました。

(2) 生活習慣病・肝炎対策（産業医・生涯・専門）

8月19日(木)、前橋テルサつつじの間で、田中義相談員(産業医学担当) に講師をお願いし実施しました。

内容は「定期健康診断有所見率改善のための取り組み」「生活習慣病の背景」「糖尿病患者の状況」「健診での基準の検討」「職場における肝炎ウイルス感染」についてでした。

大変充実した内容で、「有益だった」とのご意見をいただきました。

(3) カウンセリングシリーズ編・まとめ

8月24日(火)に県庁昭和庁舎で実施しました。

シリーズ最終回だったため、羽鳥裕明相談員のまとめの講義の後、沼澤文子相談員にも加わっていただき、参加者各自が事例を発表して、事例検討と意見交換を行いました。

シリーズを通して参加いただいた方からは「シリーズで内容が充実していました。講義と実技がペアになっていて理解しやすかった」「今後会社で実践して役立てたい」「実際の事例の話が聞けて業務の参考になった」などのご意見を頂きました。

会場については、「先生の声が反響し聞きづらいところがあり残念だった」また、「今回だけの参加で理解できない面があった」とのご意見もありました。

カウンセリングのシリーズ化については「とても有効だったので来年度もよろしく」「是非またカウンセリングのシリーズをやってもらいたい」とのご意見が多くありました。

(4) 歯科保健から考える生活習慣病

8月26日(木)、高崎市総合福祉センターで、講師に山口達雄氏(山口労働衛生コンサルタント事務所所長、山口歯科医院副院長)をお迎えして実施しました。

「成人歯科健診と産業歯科健診」「有害要因と歯科的症状」「歯周病が全身に及ぼす影響」「歯周病と糖尿病」「歯周病と糖尿病の関係」についてお話いただきました。

参加者からは、「産業歯科健診について理解できた」「大変わかりやすかった」とのご意見があり、研修後には、歯の健診で異常があった場合の対応や成人歯科健診の実施機関などについての質問があり、大変充実した研修になりました。

事務局へのご意見として「スライドは分かり易かったが、印刷物が白黒で分かりにくかった」とのご意見もいただきました。

今回と同じテーマ・同じ講師で23年1月13日に太田で実施する予定です。聞き逃した方はどうぞご参加ください。

労働安全衛生法では、「有害な業務で政令で定めるものに従事する労働者には歯科医師による健診」を義務づけています。見逃し易い健診ですのでチェックし

てみてください。(労働安全衛生法第66条第3項、労働安全衛生法施行令第22条第3項)

(5) 健診データのまとめ方と活用 (その3)

8月31日(火)、群馬産業保健推進センター研修室で、藤田晴康相談員(産業医学担当)に講師をお願いし実施しました。

平成21年度22年度に続く3回目のセミナーですが、新規受講者がほとんどだったため初心者のための説明に力を入れてのセミナーになりました。

セミナールームが満席だったため、参加していただいた皆さんには、暑くて申し訳ありませんでした。

(研修風景の写真は当センターホームページからご覧になれます。)

\*\*\*\*\*  
その他関係機関の動き  
\*\*\*\*\*

\* 第61回 全国労働衛生週間(厚生労働省主唱)

10月1日から10月7日

(準備期間9月1日から1月30日)

スローガン 心の健康維持・増進

全員参加でメンタルヘルス

下のホームページから、週間のリーフレットがご覧になれます。

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/1008-1a.pdf>

\* 平成22年度自殺予防週間(内閣府共生社会政策統括官)

平成22年9月10日(金)から16日(木)までの間自殺予防週間が実施されます。

<http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/kou-kei/h22/youkou.html>

\* 働く人の電話相談室(社団法人 日本産業カウンセラー協会)

平成22年9月10日(金)から12日(日)の間働く人の電話相談が行われます。

電話番号 0120-583358

(電話受付時間 10時から22時)

<http://www.counselor.or.jp/pdfs/100824b.pdf>

\* 第69回全国産業安全衛生大会開催のご案内(再掲)

開催期間 平成22年10月10日(水)～8日(金)

会場 福岡国際会議場他

特別講演 山下泰裕(東海大学体育学部長)

<http://www.jisha.or.jp/taikai/index.html>

\* 市民公開講座「重粒子線がん治療の現状と展望～群馬大学の取り組み～」(再掲)

開催日 平成22年10月10日(日)10:30～

講師 群馬大学重粒子線医学研究センター  
准教授 大野達也先生

会場 前橋テルサ 2階大ホール

主催者 北関東・南関東地域放射線技師会

下のホームページでご覧になれます。

(大野先生の講演は市民公開講座なので、参加費は無料です)

[http://plaza.umin.ac.jp/~gart/GART\\_index.html](http://plaza.umin.ac.jp/~gart/GART_index.html)

\* 第32回全国地域保健師学術研究会のご案内(再掲)

開催日 平成22年11月18日(木)～19日(金)

開催地 富山市

会場 富山国際会議場・富山県民会館

詳細については、次のホームページでご覧いただけます。

[http://www.pref.toyama.lg.jp/cms\\_sec/1204/kj00009402.html](http://www.pref.toyama.lg.jp/cms_sec/1204/kj00009402.html)

-----  
今日から全国労働衛生週間準備期間です。

今年のスローガンは「心の健康維持・増進 全員参加でメンタルヘルス」で、メンタルヘルス対策の重要性を前面に出したものになっています。

当センターに寄せられる相談もメンタルヘルスに関するものが多く、また、本年度から、無料で実施している管理監督者へのメンタルヘルス教育の依頼も増加しています。「心の健康づくり計画の策定」や「事業場内体制の整備」等、職場内で問題が起こる前に、衛生週間の準備期間中に検討していただければと思います。

さて、昼休みセンターの周辺を歩いていましたが、8月はあまりにも暑かったので、直射日光が当たらないアーケード通りを選んで歩いて。そこで、先日弁天通りに面した大蓮寺さんの掲示板にこんな張り紙を見つけました。

秋風早く来て  
涼しい秋は  
まだですか  
みんながまってる  
秋風を  
早く吹かせて  
くださいね

本当に今年は秋が来るのでしょうか。

=====  
<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

[sanpo10@gummasanpo.jp](mailto:sanpo10@gummasanpo.jp)

=====  
《発行元》群馬産業保健推進センター電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966